

# リモートセンシング画像活用支援システムの開発

## Development of the remote sensing image utilization system

小野浩之

当センターの農林総合研究所では、水稻の食味向上や品質の安定化のためにリモートセンシング画像からタンパクマップや収穫適期マップを作成する技術を確認し、生産指導に活用してきている。

本研究開発では、これまで当センターで開発したリモートセンシング技術の特A米候補の新品種米に適用し、そのタンパクマップや収穫適期マップを現場で活用可能とするために、汎用モバイル端末（スマートフォンやタブレット等）を用いたマップ表示及び現在位置追尾が可能な生産支援システムを開発することを目的としている。

今年度は、Google Map Android API v2 を用いたマップ表示、地図タイプの切替（通常、衛星、地形図、ハイブリッド）、GPS による現在位置表示と追尾、Google Map を背景地図として収穫適期マップの表示と透過度変更、マップファイルのクラウドからの読込を可能とする Android アプリケーションを試作した。

